【公開版】

2 0 2 2 濃計発第6 0 号 2 0 2 2 年 1 2 月 2 6 日

原子力規制委員会殿

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字沖付4番地108 日本原燃株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

加工施設に関する設計及び工事の計画の軽微な変更の届出

別紙のとおり加工施設に関する設計及び工事の計画を変更したため、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第16条の2第5項の規定に基づき届け出いたします。

本書類の記載内容のうち, 内の記載事項は, 商業機密又は核不拡散に係る情報に属するものであり, 公開できません。

別 紙

一 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 日本原燃株式会社

住 所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字沖付4番地108

代表者の氏名 代表取締役社長 社長執行役員 増 田 尚 宏

二 変更に係る加工施設の概要

1. 事業所の名称及び所在地

名 称 濃縮・埋設事業所

所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附504番地22

2. 変更に係る加工施設の種類

濃縮施設 UF₆処理設備

三 法第十六条の二第一項又は第二項の認可年月日及び認可番号

認 可 年 月 日 令和3年7月26日

認 可 番 号 原規規発第 2107268 号

四 変更の内容

添付1及び添付2のとおり

五 変更の理由

令和3年7月26日付け原規規発第2107268号にて認可された設計及び工事の計画において、UF6処理設備の主要配管の設計条件及び仕様に関する記載の適正化が必要な箇所が認められたため、添付1のとおり変更を行った。

また,添付書類における工事範囲境界の図示位置等について,記載の適正化が必要な箇所が認められたため,添付2のとおり変更を行った。

なお、上記の変更内容は、技術基準規則への適合性評価に影響がなく、核燃料物質の加工の事業に関する規則第三条の二第 2 項に規定される核的制限値である間隔を小さくしないものその他加工施設の保全上支障のない変更に該当する。

添付 1

変更箇所	変更内容
(1) 発生・供給系 b. 主配管 ・ 東西等 (X) th (世分系)	添付 1-1 のとおり変更する。
・主要配管(発生・供給系)(2) 製品系b. 主配管・主要配管(製品系)	添付 1-2 のとおり変更する。
 (7) 一般パージ系 d. 計装設備 (b) インターロック ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号一般パージ系コールドトラップ) 	添付 1-3 のとおり変更する。

変更前後比較表変更前				変更後			変更理由等
22.17				~~~			・「2 号発生槽 (A~G) 出口配
			本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本				 管分岐点~一般パージ系
							との取合い弁」の一部範囲
が * 目			所 * E				を重複して記載していた
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *			外径************************************				ため、記載を削除する。
図 御 数 数 無 東 団 の の で で で で で で で で で で で で で で で で で			の 単型 を ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※				
存 発 (な (な (な (な (な (な (な (な (な (流体等 の種類 *3	7.	~ 	ئة ب	
表現 表現 表別 表別 表別 表別 表別 表別			※ 変更後 用 間 遺 使 **2 **2 **2 **2 **2 **3 **3 **3 **3 **3	※ 更 が	変更なし	変更なし	
東高使 用田力 *2			最高使 用压力 *2 hPa				
	7) 10 10					₩ ₩ ₩	
						-N	
44000000000000000000000000000000000000			A.				
	5 7 7 ×					77 %	
主要配管 (発生・供給系)	\$ \$			主要配管 (発生)	我然帐)	#\$ }	
	世。 李外		上			■	
	と記載。 単の対象		州 萃 ,			と記載。	
所 *	単、 圧力)」と記載。 と記載。 臨界管理の対象外であるため「		原 れ 40 44 mm	0 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	8 8	2.5 一 一 一 一 . .	
			外径 *4	48.6 76.3 89.1 114.3	60.5	21.7 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	を を 本 か か か か か か か か か か か か か か か か か		臨界 管理 核的 制限值 濃縮度	φ 	10 *		
(型)	成立の政権を受ける。		ご前 流体等 の種類 *3	XX H.	》 Fe	40 年 21.7 Ling	
※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	調いている。 調いては、 はいないは、 はいないない。 ないないない。 ないないない。 ないないない。 ないないない。 ないないないない。 ないないないない。 ないないないない。 ないないないない。 ないないないないない。 ないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないないない。 ないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		表 ・	40	100	04 77 77 47 47 47 47 47 47 47 4	
最高度	2名		最高使 用压力 *2 hPa	: 顯士 : 顯子 0 0 0 0	上限: 960 下限: 0	1	
上記 日記 日記 日記 日記 日記 日記 日記	記 *1:記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度) *2:記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度) *4:記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。 *5:濃縮度 0.95 %未満のウランを取り扱う配管であり,	子配爷	名称-1	2 号発生槽 (A~G) ~ 2 号圧力調整槽 ~ カスケード設備との取合い 要 配 管 管 発	2 号名		
で ・	Ħ	ا ف		三二時 医免疫 (外社)	が ひが しか /		

ਹਵਿੱਚ	7 24/1	11.54-11
~%` P	⁷ 日1117を	比較表

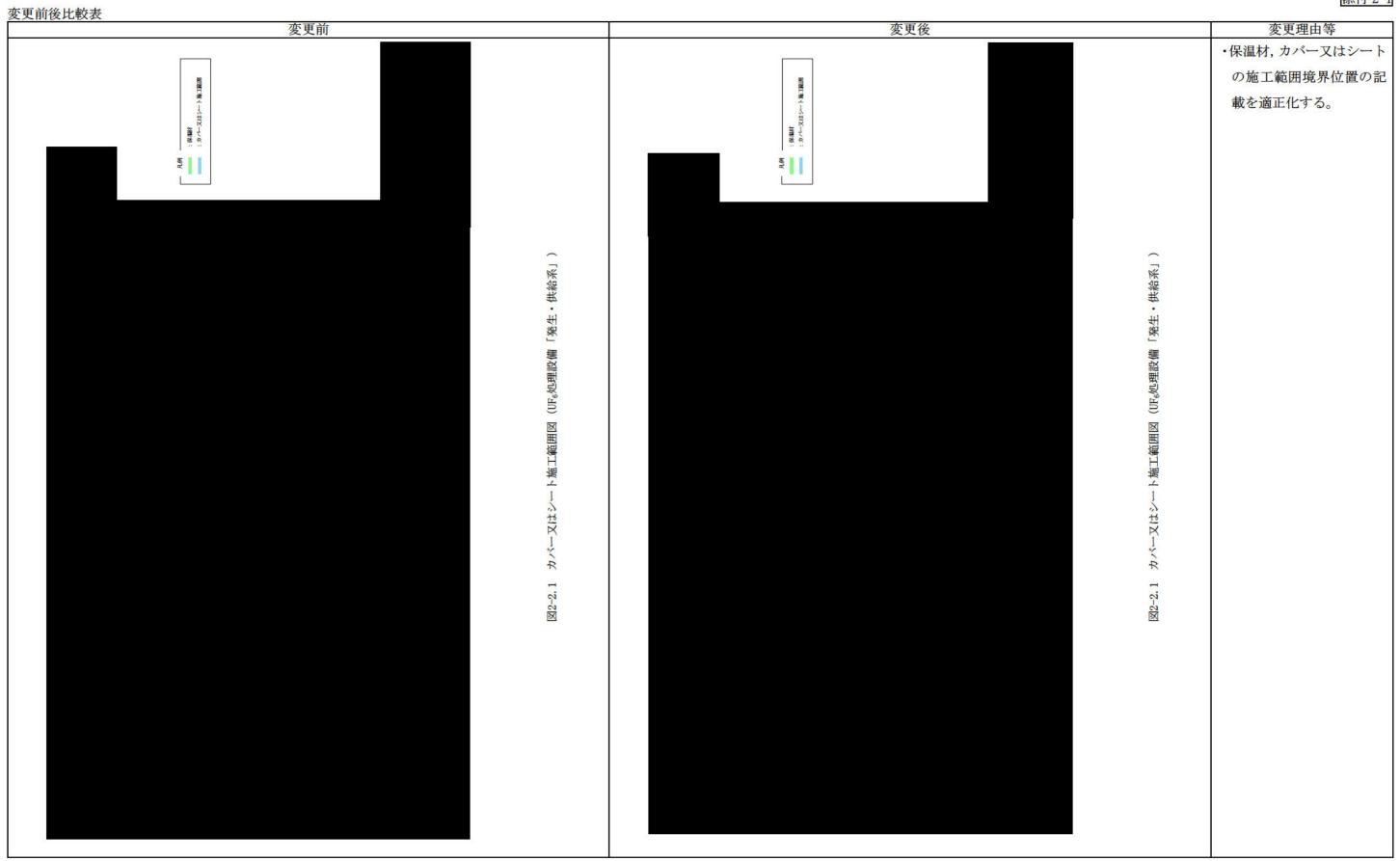
芝更前後比較表	変更前	変更後	変更理由等
A径 厚さ *** *** *** *** *** *** *** *** ***	変更前	変更後	変更理由等 ・「2 号製品コールドトラップ (A~D) 出入口配管分岐 点~2 号製品回収槽 (A~D)」の一部範囲を重複して記載していたため、記載を削除する。
変更後	hPa C - % 変更なし 変更なし	東高使 東高使 流体等 管理	
谷	州歌屋御(歐唱帐)	(歌唱张) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
女 计			
50	8 8 8 3.0 3.0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
* *	34.0 34.0 48.6 60.5 60.5 76.3 76.3 76.3 76.3 76.3 76.3 76.3 76.3	を * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
部 存 数 的 新 新 新 新	A	139.8 1	
部 池体棒 の 種類 *3		=	
変更 展高使 #2 *2	40 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1	W W W W W W W W W W	
最高使 用压力 *2	上頭: 100		
b. 主西2 管 名称 ¹	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	b. 主西2管	

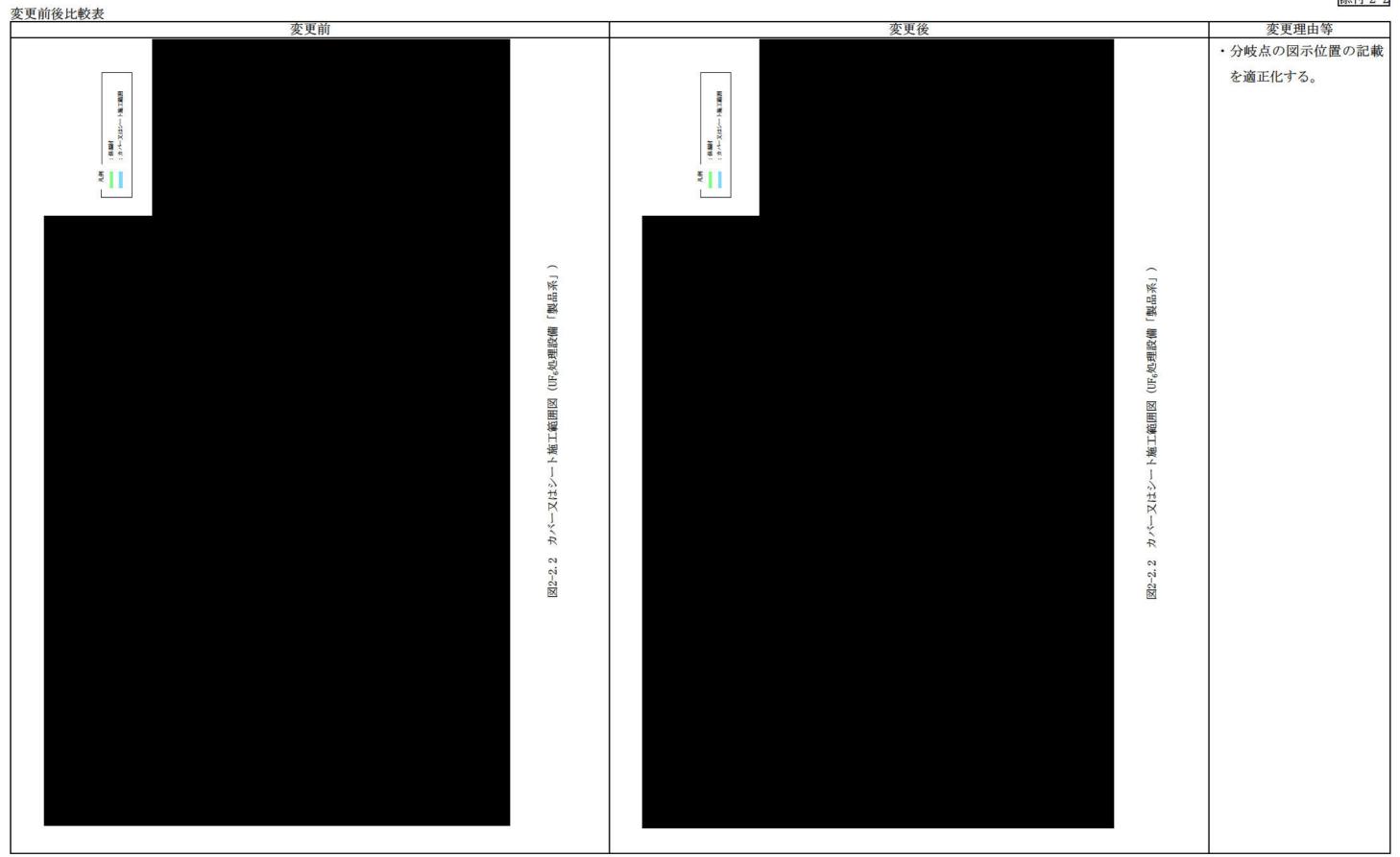
変更前後比較表	変更前							変更理由等					
				変更後						・存在しない室名を記載し			
		設定値			原を切				設定値			原を切	ていたため、記載を適正
		护臣			的亿熟				划 登			的に熱い	化する。
		ーロック に要する の個数			は				1 シク ビナる 数			加量	
		インターロック の起動に要する 信号の個数			پې عر عر				インターロック の起動に要する 信号の個数			್ಲಿ - ನ - ನ	
		Λ 6 3, 46	-		器子の				∠ 8 ∴ # €			発 する る	
					警報を発するとともに自動的に熱源を切る							警報を発するとともに自動的に熱願を切る	
		监							长				
	淡 更 後	世	変更なし	変更なし	ない・範 投票 かん			変 更 後	年 種	変 更なし	変更なし	ない 殺	
	1500	母	数					18st	母	₩.	拠	まる 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
					理温度ックは、							理温度 ックは は	
		画 数	_		以下 設計図書による。 ア内の圧力又は温度が異常に上昇した場合に、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、 置する。2 号一般パージ系コールドトラップは3 基あるため、本インターロックは計 3 式設置する。				数数			*1:既設工認に記載がないため,記載の適正化を行う。記載内容は,設計図書による。 *2:本インターロックは,加熱中に2号一般パージ系コールドトラップさに設置する。2号一般パージ系コールドトラップは3基あるため,本インターロックは計3式設置する。 *3:本インターロックは2号一般パージ系コールドトラップごとに設置する。2号一般パージ系コールドトラップは3基あるため,本インターロックは計3式設置する。	
		検出器の種類			. ない				検出器 の種類			ないなが、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のでは、大人・一般のできない。	
					王を超え 5るため							五を超え 500ため ため	
		インターロックの種類			大久				- ロック (類			13 基3 基3 4 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1	
		ンターロンの種類			場合にフップ				ングーロッパ			場合に	
									~				
		設定値	960 hPa 以下	\$ }	以 (本) (a) (a) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (c)				設定値	960 hPa 以下	■ ₹ 5 F	異常に上る。その一つでは、	
		ーロック に要する の個数			こよる。 カメは2 3 号一書				-ロック - 四ック - 回数 - 0 = 数			たよる。 カカスは 19年一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
		インターロック の起動に要する 信号の個数		-	計図書(内の圧) する。2				インターロック の起動に要する 信号の個数	,	⊣	計図書(対の圧) する。2 ずる。2	
		4 6	bal		ta ないだい。 では、 ででで できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。				4 6	bal	bal	は、 で で で で で で で が が で が が が が で が が が で が が で が で が で が で で が で に で で で で	
					2 号発生回収室 7.7。 記載内容は ※コールドトラ ド・ラップごとに ド・ラップごとに					- - 		載 <i>れ</i> プ 内ドご 斧トン	
		緬			2 号略/ う。 記 ネコートラッ				種	2 号略[心除 → 。 r v ピーッ	
	麥 更 前	#			デースペーン かし インディー			変更 前	± 2			- 名: 1 - ね: 2 - た: 2 - た: 2	
		母	※ 統 (ライン名) 設 間 (蜜名称)	※ 湾 (ライン名)	設				盛	※ ※ (ライン名) (ライン名) (電名称) (電名称)	※ ※ ※ ※ <td< td=""><td>の を</td><td></td></td<>	の を	
			(米 () (設 (調)	PK I	(学)					(水 (C) (設 型)	(K C) 誤 (A)	7, 記載 独立に2 般パー	
		国数	-	-	はいた <i>メ</i> は,加速 は2.9~				画 数		-	ないたみま, 加速は、加速は、2 号 2 号 1 2 号	
		検 田 場 乗 瀬	2 号一般パ ー ジ 系 コ ー ル ド ト ラップ 入 ロ圧力計	2 号一般パージ系コール 不 トート ドト	ラップ内 温度計 認に記載がな ターロックは ターロックは				検出器 の種類	2 年一般パー レジギュールドト ファプス	2 年 - 般パ - ルドネコ - ルドト ラップ内 温度計	記載が7 ロックト ロックト	
	V. 7				ルップ 温度計 温度計 工器(た記載 アターロッソターロッソターロッ			<i>(</i>)				ドング	
	1	- ロック 類	1高又は 1高によ 1止のイ ック (2	ジャッ	# 2 号発生回収室 (室名称) (を ロ ル ツ	- ロック 瀬	5高又は 1高によ 5比のイ ック(2	ナー般パージ系 (一ルドトラッ (*) (*)	:::: 既 本 本 版 <i>と 入</i>	
	1/4	インターロックの種類	圧力異常高又は 温度異常高によ る加熱停止のイ ンターロック(2	毎一般パージ系 コールドトラップ)	8			× / ×	インターロックの種類	圧力異常高又は 温度異常高によ る加熱停止のイ ンターロック(2	- 14~10 - 11 − 12 − 12 − 13 − 13 − 13 − 13 − 13 −		
	(q)	7	日温%ン		* * *			(q)	7	日温るシ	ポ イ n 如	起	

添付 2

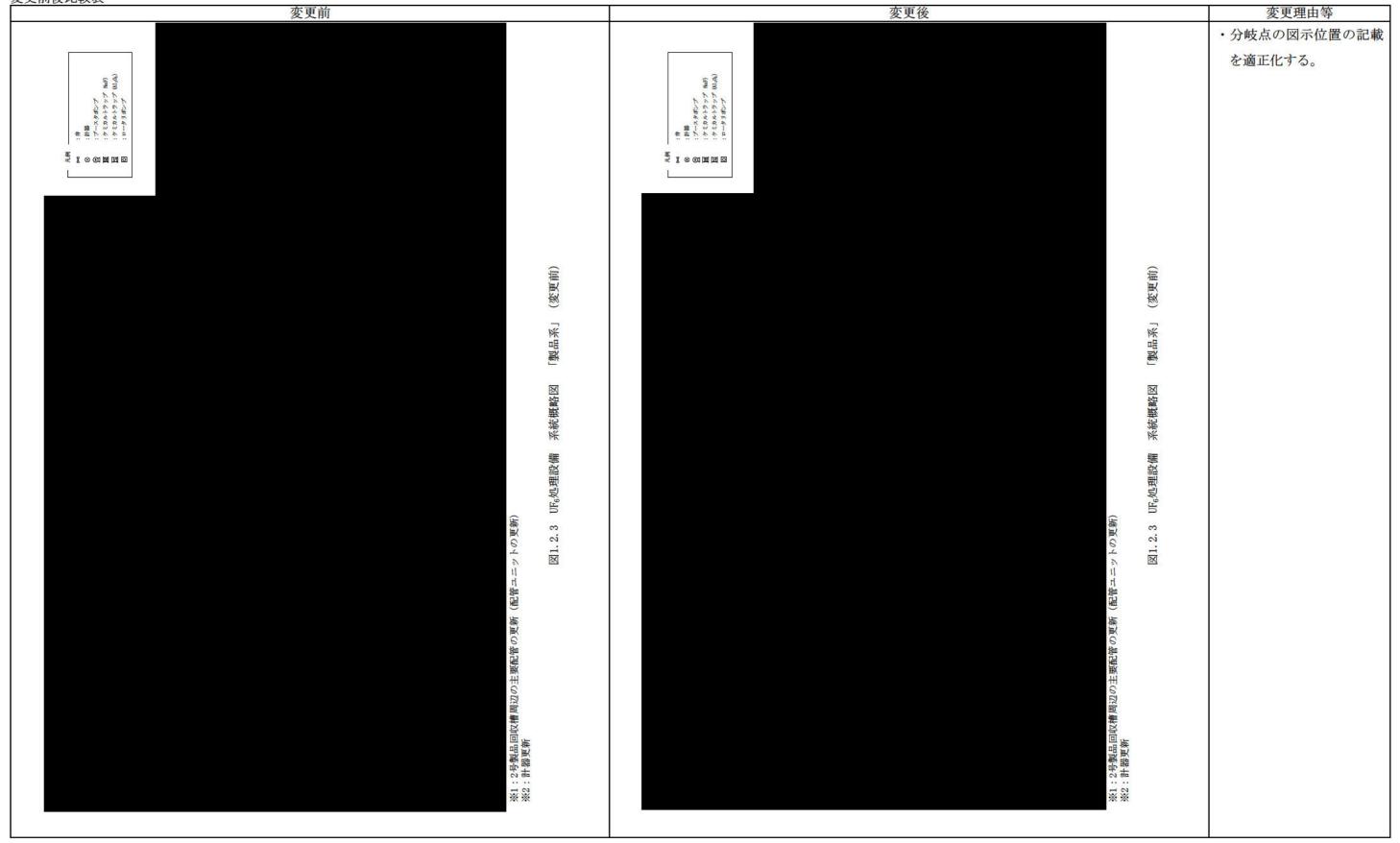
令和3年7月26日付け原規規発第2107268号にて認可された設計及び工事の計画の「添付書類(3) 加工施設の技術基準への適合性に関する説明書」について、記載の一部を次のとおり変更する。

変更箇所	変更内容
V-1-1-2加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書書図 2-2.1カバー又はシート施工範囲図(UF6処理設備「発生・供給系」)	添付 2-1 のとおり変更する。
V-1-1-2加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書書図 2-2.2カバー又はシート施工範囲図 (UF6 処理設備「製品系」)	添付 2-2 のとおり変更する。
V-2 加工施設に関する図面 V-2-1 系統図 図 1. 2. 3 UF ₆ 処理設備 系統概略図「製品系」(変更前)	添付 2-3 のとおり変更する。
V-2 加工施設に関する図面 V-2-1 系統図 図 1. 2. 4 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」(変更後)	添付 2-4 のとおり変更する。
V-2 加工施設に関する図面 V-2-3 構造図 図 3.1.1 UF ₆ 処理設備 構造図 (2 号発生槽)	添付 2-5 のとおり変更する。
V-2 加工施設に関する図面 V-2-3 構造図 図 3.1.4 UF ₆ 処理設備 構造図(2 号廃品回収槽)	添付 2-6 のとおり変更する。

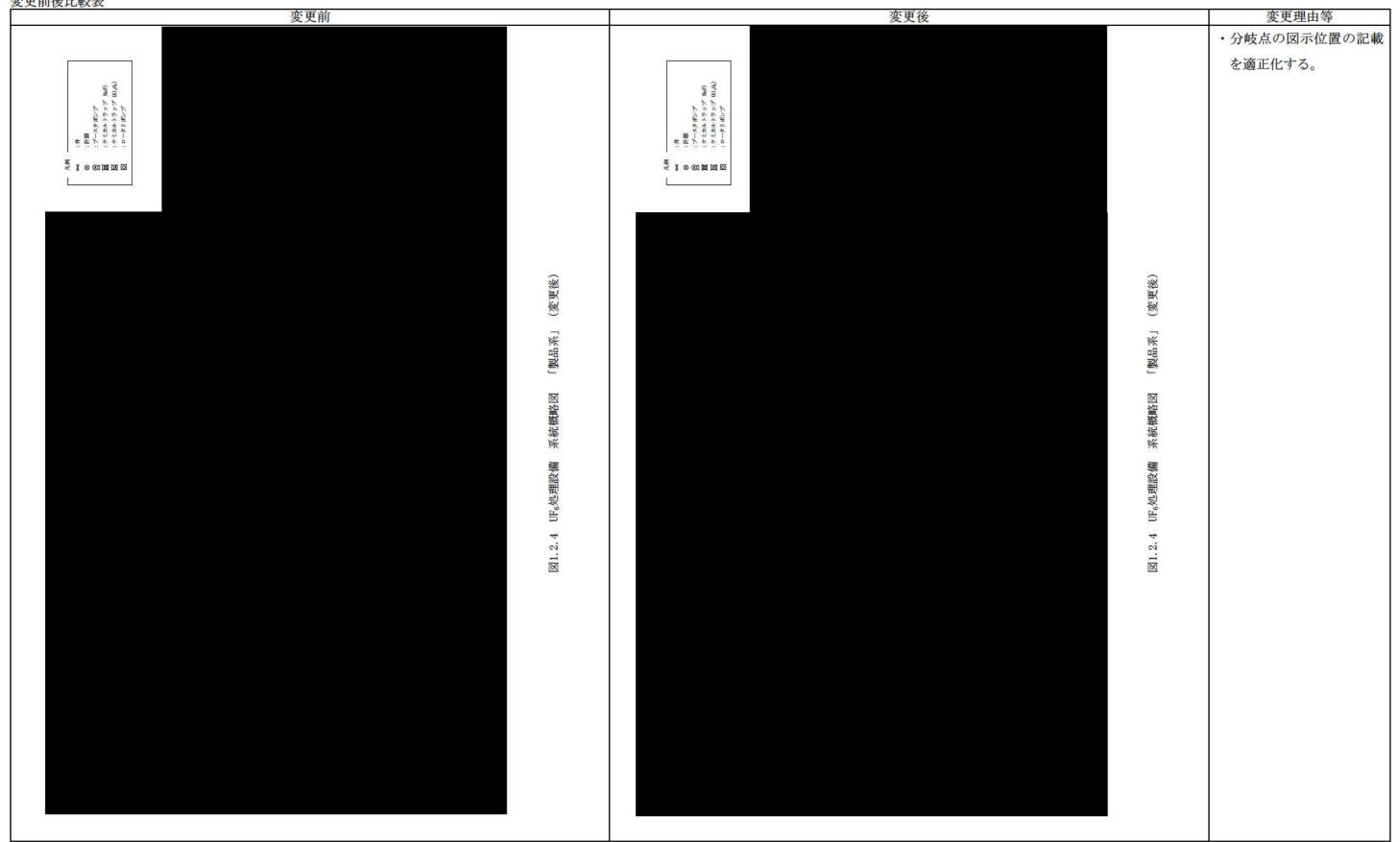




変更前後比較表



変更前後比較表



添付 2-5 変更前後比較表 変更理由等 変更前 変更後 ・子台車ストッパ寸法の記 単位: 皿 斯位: mm 載を適正化する。 子台車槽本体 槽本体 部品名 子台車 カバー カバー 側面図 側面図 番号 番号 (e) (3) ⊗ ⊗ Θ Θ 図3.1.1 UF6処理設備 構造図 (2号発生槽) 構造図 (2号発生槽) 図3.1.1 UF。処理設備 **図**里址

添付 2-6 変更前後比較表 変更前 変更後 変更理由等 ・子台車ストッパの寸法の 記載を適正化する。 単位:mm 単位: mm 部品名 子台車 子台車 槽本体 槽本体 部品名 カバー 側面図 側面図 番号 番号 Θ 0 <u>@</u> Θ ® ® 図3.1.4 Մ。処理設備 構造図 (2号廃品回収槽) 図3.1.4 UF6处理設備 構造図 (2号廃品回収槽) 正面図 本面図 本面図 正面図